

つきたい力

取組みの概要・ポイント

- ①取り出した情報を自分の考えと結び付けて表現する力
- ②複数の資料を関連付けながら筋道立てて考え、自分の考えをまとめる力
- ③言語活動を通して児童が主体的に学習し解決することができる力

- ・ 説明文の「読むこと」を「書くこと」にいかすための手立てを考える。
- ・ 手立てや評価を具体的に考えるために教師のモデル文作成やゴール設定の成果物を作る。
- ・ 思考を深めるために「考えを持つ」「交流する」「まとめる」「伝える」場面を設定する。

具体的な取組みの内容

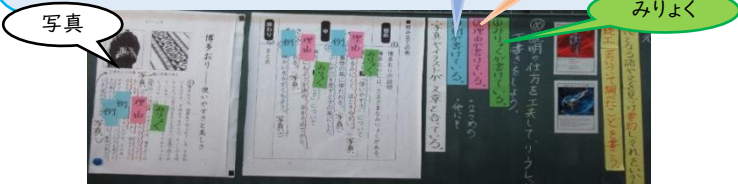
「読むこと」を「書くこと」にいかす

読む

全文提示・構成の分かるワークシートの作成

④4年「世界にほころ和紙」

- 筆者の考えや理由と事例に色を分ける
- 問いと答えに線を引く
- 重要な語や文を選び出す



①技カードを活用し、構成・要約・接続詞を捉える

- 単元の序盤
*文章を守る甲冑カード「はじめ・中・終わり」
- 段落読み取り
*ポイントを見極めるカカード「要約」
- 自分の考えを書く
*文章を短く切りつなく伝説の剣カード「つなぎ言葉」

技カード
 例・ヒント・説明
 が記載

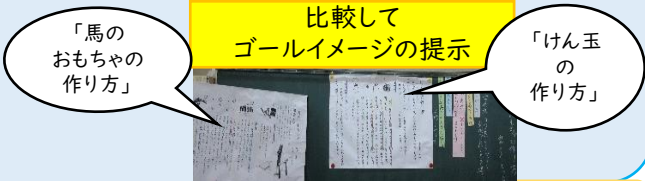
書くために
学ぶ
 ←
 →
 使うことで
定着

書く

学習した説明の仕方を利用して書く

⑤2年「馬のおもちゃの作り方」「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

- モデル文の作成
- ゴールイメージの提示
- 書くポイントの確認
- 既習の説明文でふり返り
- セルフチェックシート



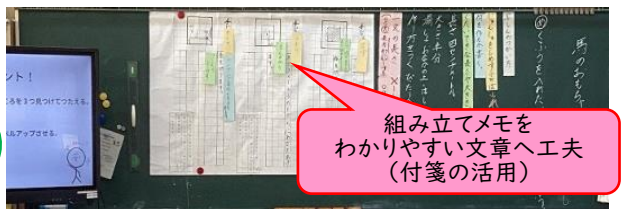
②子どもの思考を整理するためのツールを各学年に合わせて設定

- 大切な言葉に線を引く⇒項目ごとに色分けして表にまとめる⇒《書くポイント確認》
- *順序を示す言葉 *具体的な長さ大きさ場所
- *一文の長さ *どこの部分を作るか



実際に作成
 録画

個人で動画を見直し、順序や具体的な言葉で書けているか確認



ロイロノートの活用

わいわいタイム
 ペア学習やグループ学習
 考えを持つ→交流する→まとめる→伝える

- ポイントを確認する
- 良さを見つける
- 異なる考えに気づく
- レベルアップのため助言し合う



取組みを通しての子どもの変容

- 書くのが苦手だった子どもに書こうとする意欲や書けたと喜ぶ姿やねばり強さがみられるようになってきた。
- ゴールを示すことで主体性が高まり、書くことへの抵抗感も減ってきた。
- 評価テストが1学期から2学期で伸びた。40%→75.4%
- アンケート 自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して伝え方を工夫している。79.1%→79.9%

詳しい取組みは
 本校HPより →

